こんにちは! 事務局です

《理事会報告》

第5回理事会／令和3年1月16日(土)

Ⅰ 決議事項

1. 在宅ケアセンターみのり建設積立資産取得資金取扱規程（案）について
2. オンライン研修システムの導入について

Ⅱ 協議事項

1. 令和3年（2021年）度重点事業（案）について
2. 看護の日およびナーシングナウキャンペーンの推進について
3. 令和3年（2021年）度教育計画（案）について
4. 令和3年度通常総会について

Ⅲ 報告事項

1. 業務執行理事活動報告について
   日本看護協会理事会報告
2. 新型コロナウイルス感染症対応のための県内医療機関の看護職員応援派遣調整事業について
3. 70周年記念事業検討会議報告

Ⅳ その他

部落解放研究第27回滋賀研修会への参加について

第6回理事会／令和3年3月20日(土)

Ⅰ 決議事項

1. 令和2年度 補正予算（案）
2. 令和3年度 収支予算（案）
3. 令和3年度 事業計画（案）
4. 令和3年度 総会プログラム提出議案について
5. 令和3年度改選役員推薦状況について

Ⅱ 協議事項

1. 次年度理事会開催日程および新理事オリエンテーションと合同委員会の開催日程（案）について

Ⅲ 報告事項

1. 令和3年（2021年）度重点事業について
2. 滋賀県看護協会 新型コロナウイルス感染対応について
3. 日本看護協会理事会報告・業務執行理事業務報告

《研修申込方法変更のお知らせ》

令和3年度より、滋賀県看護協会ホームページ研修申込サイトから研修申込が可能になります。従来のFAXによる申込よりも利便性が格段にアップ！更に受講料の支払い方法がコンビニ・クレジットカード・振込から選択頂くことが可能になります。詳細はホームページ等でご確認頂く他、改めてご案内いたします。

《令和3年度通常総会開催のご案内》

令和3年6月19日(土)、滋賀県看護協会看護研修センターにおいて通常総会を開催します。会員の皆様には本来多数のご出席を頂きたいところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を制限させて頂くことがございます。詳細は4月1日以降に改めてご案内いたします。

会員の声

▶この1年、看護職が各分野で感染拡大防止策の取り組みを実施し、職務を全うされていることについて広報を通じて知り、同じ看護職としてとても勇気づけられています。（湖南市 M.S）

▶春の訪れと共に、新しい年度を迎えますね。いろいろ情報交換しながら、みんなで支え合って乗り越えていきましょう。（大津市 A.M）

編集後記

4月に入り、桜も満開の季節となりました。各施設、各職場の皆さんも新年度をむかえ新スタートを切られていると思います。昨年度は新型コロナウイルス感染対策で大変な1年だったと思います。今年度ナースレークではいろいろな情報や明るく元気になれるような話題をお届けしていきます。

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声（ご意見・ご感想）」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック！（次回発刊は7月初旬予定です）

お詫びと訂正

ナースレイク149号「看護職ワーク・ライフ・バランス推進カンゴザウルス賞」の記事において、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

● （誤）地方行政法人　公立甲賀病院　→　（正）地方独立行政法人　公立甲賀病院

広報紙「ナースレーク」

Nurse Lake

Vol.150
2021年4月

公益社団法人 滋賀県看護協会

表紙写真：大津湖岸なぎさ公園（撮影：大津市 T.Kさん）

CONTENTS

《一番星見つけた!》……2～3
新型コロナウイルス感染症への取り組みの中でよかったこと! うれしかったこと!
地区支部だより……4～5
会長あいさつ
Voice ～これからの看護職に期待すること～……6
医療安全通信
《活動報告》看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）…7
《活動報告》教育委員会
訪問看護支援センターだより……8
ワーク・ライフ・バランス（WLB）研修会……9
ナースセンターだより
はたさぽ通信……10～11
こんにちは! 事務局です
会員の声
編集後記……12

研修申込サイトがスタートします!!

発　行　所●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者●会長 廣原惠子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468　FAX.077-562-8998
http://shiga-kango.jp/
モバイルサイト
滋賀県看護協会　検索

Nursing now 看護の力で健康な社会を！

滋賀県看護協会会員数（令和3年3月8日現在）

保健師/	335人	助産師/	290人	合計 9,098人
看護師/	8,273人	准看護師/	200人	

一番星☆見つけた！

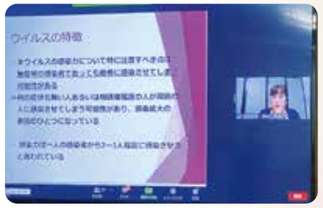
新型コロナウイルス感染症への取り組みの中で よかったこと！ うれしかったこと！

今年度の「一番星みつけた！」は、新型コロナウイルス感染症への取り組みを
各地区支部の病院・施設・クリニック等より紹介していただきます。

★ 第１地区支部

第一地区支部の大津圏域では、在宅療養応援団として地域を7ブロックに分け、行政、病院、在宅医療、福祉で働く多職種で企画した研修を市民講座で開催し、楽しく活動しています。今年度は、コロナの影響もあり市民講座は行えないチームもありましたが、多職種研修は**Zoom等のアイテムを活用**して行いました。注視したのがコロナ対策でした。

今回【チーム洗堰】での研修を紹介します。病院の感染制御部感染管理認定看護師が、講師となり出前講座を発信してくれました。コロナウイルスの特徴から感染予防対策について基礎的な講義と活発な意見交換をしながら、**不安に思っていた事や疑問に感じていたことの解決**に繋がりました。また、大津市からも講師を招き地域で医療、介護、福祉にかかわる皆さんが有意義に学べた講座となりました。他のブロックチームもコロナと向き合い感染対策に日々学び頑張っています。**コロナ対策にご尽力されている全ての職種の皆様と力をあわせて難を乗り越えて行きたい**と思っています。



チーム洗堰研修web

★ 第２地区支部

第２地区支部内では今年度、出前講座を企画、実施いたしました。申し込みで一番多かったのは、やはり感染管理認定看護師の講座でした。参加施設は病院、訪問看護ステーション、介護施設、クリニックなど様々で、新型コロナウィルス感染症に対する対策について講義を希望されました。

担当する講師はいずれも事前に施設担当者と打ち合わせをしており、当日は看護師以外にも施設内で一緒に働く他職種の方々も参加いただき、**施設全体で感染対策に取り組む姿勢**がうかがえました。中でも看護師がリーダーシップをとって感染対策を実施していかなければならない、という現状でこのような**出前講座での学びの共有と普段の施設取り組みが確認できたことは今後の自信につながる**とうれしい感想を頂きました。

感染管理認定看護師 宮脇舞子 氏
（済生会守山市民病院 所属）

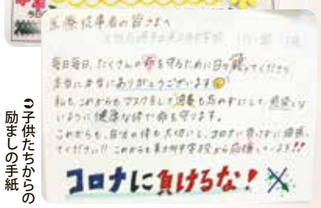
今回3か所の施設で感染について講座を担当していただきました。

★ 第３地区支部

公立甲賀病院は第2種感染症指定病院であり新型コロナウイルス感染病床を18床有しています。もっとも危惧されていた年末の感染拡大第3波においては、回復期リハビリ病棟、終末期の緩和ケア病棟にクラスターが発生したことで、入院患者さんをはじめ、病院職員全体に激震がはしり、さらに感染対策が強化されました。**出口の見えない日々の中でも、支えになったのは、全国からの応援メッセージやコロナ治療を終え退院される患者さんからのお手紙**などです。また、院内意見箱には、**地域住民の皆さんから励ましの言葉**が多く寄せられました。

現在、一日4回院内放送で換気のお知らせを行い、患者さんと共に感染拡大を防ぐ取り組みをしています。自分を守るため、大切な人たちを守るため、一人ひとりの自覚と行動で新型コロナウイルスの収束に向かっていきたいです。

コロナ患者さんへのメッセージカード



子供たちからの励ましの手紙

★ 第４地区支部

新型コロナウイルス感染拡大対策として、各施設ではマスク着用の徹底、三密対策、体温測定や面会制限などの対策を行っています。その中で病院スタッフに向けて「日々の業務に加え、長期化する感染対応に従事していただき感謝します」とメッセージカードや色紙を送って頂いた施設がありました。また違う病院では、施設に通う利用者様方が疫病退散のご利益があるとSNSで話題になった妖怪 “アマビエ“を靴下の切れ端で作って頂きました。「**1日も早く普段の日常に戻ってほしい**」という願いを込めて、外来診察室前に展示させていただきました。この作品を見るたびにみんなが勇気づけられているそうです。

患者様やご家族からの温かい言葉かけや感謝のメッセージで、私達は**「コロナに負けない、乗り切ろう！」いう気持ちで頑張っていける**のではないかと感じています。

★ 第５地区支部

豊郷病院では、昨年末に新型コロナウイルス感染症のクラスターが院内で発生しました。そのクラスター終息宣言の翌日（2020年12月14日）、地元の小学校から代表の生徒さん６名と、引率の先生数名が来院されました。

その理由は、疲れ切った私たちへの激励でした。生徒さんたちは「**私たちもマスクを着けて頑張るので、病院の皆さんも頑張ってください**」と、私たち病院職員を励ましてくださいました。心のこもった暖かいメッセージカードに、一つひとつ丁寧に折られた千羽鶴「感謝の虹」の作品をいただきました。**生徒さんたちのキラキラする瞳**からエネルギーを沢山もらい、これからも地域の皆様の健康維持に貢献できるよう、頑張っていこうと思えました。豊郷小学校の皆さん、本当にありがとうございました。

★ 第６地区支部

長浜赤十字病院は、第2種感染症指定医療機関以外に、地域の基幹病院として、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、精神科病棟など多くの役割を担っています。新型コロナウイルス感染症に対しては、流行当初から帰国者・接触者外来の設置、陽性患者の受け入れを行う重点医療機関として対応してきました。一方、通常医療を維持するため新型コロナウイルス感染症対応との両立を行うために病院全体で取り組んできました。

流行が始まって一年が経過し、ガイドラインや新しい知見などを参考に様々な対策を行ってきましたが、その中でも重要な対策の一つとして**職員が濃厚接触者にならないこと**を徹底してきました。職員が濃厚接触者にならないことは、患者さんへの感染拡大を防ぐことができます。感染対策の基本である手指衛生の実施は当然のことですが、サージカルマスクとアイガードの着用を第一波の時から全職員に徹底してきました。しかし、**アイガードの中にはしっかりと眼を守ることができない製品もあったため、適切なアイガード（ゴーグル）を購入し全職員に配布することで徹底**ができました。委託職員の方についてもアイガードの着用の徹底をお願いして対応していただきました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の対策は続けていかなければなりませんが、通常の医療も止めるわけにはいきません。今後も職員の感染対策を徹底することで地域医療（患者さん）を守っていきたいと思います。

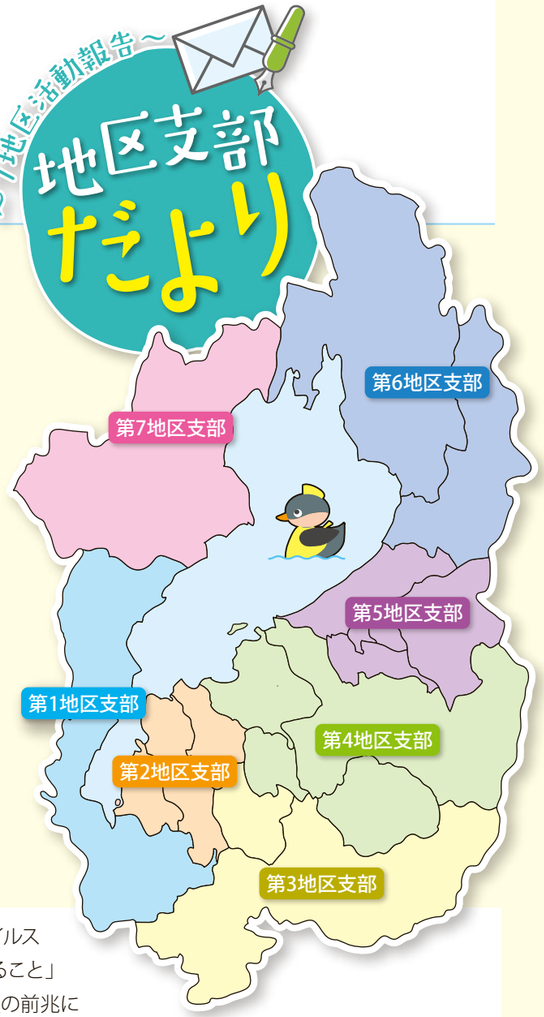
★ 第７地区支部

高島市民病院は第2種感染症指定病院であり、2020年4月から新型コロナウィルス感染症患者を受け入れることになりました。

初日に受け入れた一人の患者さんとの出会いの場面から。Aさんは入院中に状態が悪化し人工呼吸器装着となりました。病棟、病院全体に緊張と不安が走りました。

その後2か月かかりましたが、元気に無事退院されました。そしてクリスマスを迎える12月、Aさんからスタッフ一人一人の名前が入ったお手紙を頂きました。一人一人が関わった場面に「ありがとう」のメッセージ。**「髪を洗ってくれてありがとう」「使いやすいお箸に変えてくれてありがとう」「不安な気持ちを聞いてもらってありがとう」「命を助けてくれてありがとう」**PPEを装着して誰が誰かわからない姿で患者さんと関わり、私たちも看護の方向性に悩みました。そのような中、**少しでも患者さんの思いに寄り添いたい気持ちでケアしてきたことが患者さんに届いていました**。これが看護の喜びになり現在の支えになっています。

～7地区活動報告～ 地区支部だより



1 第1地区支部
支部長 山元 ふみ子

第一地区支部では、去る11月14日㈯にJCHO滋賀病院講義室におきまして、「2020年度第1回第一地区支部研修会」を開催いたしました。今年は、例年と異なり、コロナ禍での研修開催となり、参加者制限を設け、十分な感染予防対策を講じた上での開催としました。第1部では、「高齢者の暮らしを地域で支える－訪問看護の実践から－」と題して、真盛園訪問看護ステーション和顔　訪問看護認定看護師の今井直子先生よりご講演を頂きました。

第2部では、2019年度滋賀県看護協会　看護管理者研修に参加された3名の看護師長より、学びの報告をして頂きました。それぞれ多様な学びを、大変分かりやすく発表され、参加者全員で活発な意見交換を行い学びの共有ができました。今回の研修開催の是非については、何度も検討を重ね、会員の皆さまのご協力と、研修運営に工夫を加えることで、無事開催を実現することができました。会員の皆様に感謝申し上げます。

2 第2地区支部
支部長 吉村　薫

今年度はコロナ禍にて当初計画通りには活動が出来なかったというところですが、その中で11月に災害をテーマに「現場での危機管理～あなたはどう対応しますか～」とし、昨年の熊本水害現場での活動報告、及びコロナ禍でクラスター発生の病院からその時の状況を報告していただき、シンポジウムを行いました。実際の現場で何が起きていて、どのような状況だったのか、情報を共有できたことで今後の自施設、自身の役割や行動について考える有意義な時間を持つことが出来ました。また、今年度は出前講座を企画、多数の申し込みを頂き、6か所の施設での認定看護師による講座を実施しました。どの施設にも認定看護師が所属しておらず、実施後のアンケートでは、講師との距離が近く、今知りたいことが聞けた、ほかの講座も受けたい、など良い評価を頂きました。次年度に繋がるよい結果であると考えます。地区支部では今後も会員の皆さんからのご意見を頂きながら、今できる事、に取り組んでいきたいと思います。

研修風景

3 第3地区支部
支部長 岡　和美

甲賀圏域では、令和2年度の活動は、「新型コロナウイルス感染予防策を考える、地域を守るため看護職としてできること」を目指しました。しかし、新型コロナウイルス感染第3波の前兆により11月のリフレッシュー研修の中止。12月末からは高齢者の重症化・医療のひっ迫状況から収束傾向は見えず、2月の看護研究発表会、摂食嚥下研修も延期を余儀なくされました。支部活動計画の変更は、「支部だより 1号・2号」を発行し地区会員さんにお知らせしました。

地域包括ケアフォーラム後に計画した病院、訪問、老健施設の「感染予防策 実践報告会」は1月末から3月初に延期し、会場とオンラインの併用で開催予定となり、成果を発表し合い、共有できることが楽しみです。支部役員会も1月からZoom機能を活用し、手法を選びながらネットワーク強化を継続していきたいと思います。

令和3年度もコロナ禍での生活様式となりますが、地域住民の方々、医療・看護・介護をとりまくすべての施設との連携強化に励みたいと思います。

支部だより 1号・2号

支部役員会メンバー1月からWEB会議へ

4 第4地区支部
支部長 日永 菜穂子

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大対策で研修等の開催が困難な中でしたが、三密を避け換気などの感染対策を行いながら活動を行いました。

令和2年10月3日には認知症患者看護の研修として、「認知症ケアの原則・適切なケアのため」をテーマに、認知症認定看護師の名賀石さんを講師に迎えて開催しました。1時間の講義とグループワークでしたが事例をあげた講義で分かりやすく自部署でも活用していきたいという声が聞かれました。看護職ネット会議では、各施設でのコロナ対策について意見交換や情報交換ができました。

来年度にむけコロナ禍のなかでもできる活動の検討として、病院・施設・個人会員宛に郵送し、希望する研修やリモート会議についてなどのアンケート調査を実施しました。地区支部活動に求めている事などの意見を元に、役員交流会を12月10日に開き意見交換をする事が出来ました。日々の感染対策をしている中でも、顔が見える関係作りの推進を希望されており、今後もWithコロナでも地域交流や研修ができる企画を考えています。

認知症研修

5 第5地区支部
支部長 加藤　郁

第5地区支部では、令和2年度の支部活動目標を、『病気の人も、お年寄りも障害を持つ人も、誰もが自らが求める、安心・安全な暮らしを続けられる地域づくり』として活動してきました。

今年度はCOVID-19感染の影響で、すべての計画を実践することはできませんでしたが、感染防止対策に留意しながら2つの研修会を開催することが出来ました。それは「診療所・介護施設等で働く看護職のつどい」と「全世代型地域包括ケアフォーラム」です。

組織を越えた看看連携（在宅医療体制）を図っていくために、退院支援、日常の療養支援（外来での重症化予防へのかかわり・病院と開業医との看看連携）、急変時の対応、看取りの4つの視点で、圏域内の4病院から、それぞれの違った立場での報告が行われ、ケアマネージャーの参加もありました。もうしばらく続くであろうCOVID-19に備え、来年度はリモートでの研修会も計画できればと考えています。

6 第6地区支部
支部長 弓削 悦子

第6地区支部では、地域包括ケアを支える看護職の連携を強化し、地域看護力の向上を目指し活動しています。圏域内の病院、診療所、施設、地域、行政等で活動する湖北圏域看護職連携会議での第2回事例検討会を実施しました。

今回はコロナ禍のため、人数制限と、グループワークをシンポジウム形式に変更し、訪問看護ステーション3題の事例発表と質疑応答の時間が持てました。認定や特定看護師の訪問看護の場における活用、在宅での医療依存度の高い患児の退院時のNICUとの連携、多職種連携による終末期症状緩和の事例から、病院との連携の重要性や、認定や特定看護師の活用や地域でのリソース・窓口活用など多くの学びを得る機会となりました。また今年度は、認定看護師により、コロナ禍における健康メッセージの発信や、地域住民へのコロナ対策の出前講座を行いました。

今後、益々地域の看護力向上のために、専門性の高い看護師が地域で活動できる体制整備が次年度への課題です。

帰国者・接触者外来

7 第7地区支部
支部長 末武 美里

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、活動計画の見直しを余儀なくされました。その中で開催時期や人数の検討、開催方法をオンラインにするなど工夫を凝らしてきました。

事例検討会では退院支援の調整力向上を目的に多職種で事例を振り返りました。他の協議団体と共催で実施したことで多職種が参加でき意見交換する場となりました。「まちの保健室」は毎年大規模なイベントに参加して行ってきましたが、保健師や看護師が集落や企業に出向いて行う健康出前講座に同行する形に変更し、感染予防策の実施や健康チェックを行いました。

その他、湖西圏域看護ネットと共催で「感染」をテーマに研修を行いました。診療所や施設の看護職を対象に行ったアンケート結果の報告、新型コロナウイルス感染症の発生を経験した施設での実践報告、医師による新型コロナウイルス感染症の講義を行いました。オンライン研修にしたことで自宅や介護施設からの参加もあり有意義な時間となりました。

2021年度開始にあたり

Withコロナで看護の発展につなぐ令和3年度に

滋賀県看護協会 会長 廣原 惠子

平素はもちろん、昨年からの新型コウイルス感染症対応の滋賀県看護協会事業や新たな事業にご理解とご協力に感謝申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、昨年からの新型コロナウイルス感染症防止対応には、日夜を問わず最前線でのご尽力に感謝申し上げます。この一年間は、コロナ対応に追われ、業務量の増加や変更と共に、長期化による疲弊感やストレスも上昇しているのではないかとお察し致します。逆に、コロナ対応から新たな発見や気づきもあり、次々の課題に対して皆で協力し乗り越え頑張ってきた医療従事者の仲間への感謝の気持ちも大きいのではないでしょうか。

各施設におかれましては、新人看護職員や新しく仲間になられた職員を迎え、令和3度事業の開始です。コロナ禍ではありますが、新たな気持ちに切り替え、三方良し精神で“看護の力で滋賀を元気に”のもと、共にWithコロナで看護の発展につなぐ令和3年度となるよう頑張りましょう。

令和3年度から研修申し込み方法が変わります!!

新型コロナウイルス感染症蔓延防止のために、研修のあり方を見直し理事会で決議され、4月1日から新しいオンライン研修システムが導入されます。詳細は、滋賀県看護協会ホームページやご案内のチラシをご覧ください。

県民の皆様への「安全・安心」なワクチン接種にご協力を

各市町において、4月以降住民対象にしたワクチン接種が始まっていきます。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束により、県民の皆様の安全・安心で、健康な平穏な日常が戻ることを祈り、看護職としてワクチン接種にご協力をお願い致します。

6月末までのNursing Now「看護の力で健康な社会を!」で、未来につなぐ

キャンペーンは、6月末まで延期となり、今年の「看護の日」のイベントは、これからの未来の看護を担ってくれる小中高生等の若年層を対象にしたイベント企画をしています。看護を発展させ、未来につなぐ取り組みにご協力をお願いします。

Voice ―― これからの看護職に期待すること

認知症の人と家族の会滋賀県支部 代表 小宮 俊昭 氏

最初にコロナ禍の中、看護職の皆様には感染の危険と隣り合わせの日々に命を賭してお仕事に邁進しておられることにねぎらいと感謝を申し上げます。

さて、昨年コロナ禍が蔓延し出した時、「デイを利用する日数を減らしてほしいと施設から言われた」「利用していないのに利用時間を増やす特例措置に矛盾を感じながらも同意した」また、施設利用の家族は面会禁止となり、ご本人は認知症が進行し、家族は一人家で悶々とし、フラストレーションがたまっても解決の糸口が見出しにくい等、認知症の人を介護する家族からの切実な声がありました。

その一方、男性介護者のつどい「中北の家」に参加している家族は糸電話で話したり、窓ガラス越しの面会、オンライン活用など面会の可能性を施設と交渉し出来ることを模索されました。

これから認知症の人はまだまだ増加し、それに合わせて介護者も増加、痛ましい事件が増えるのではないでしょうか。認知症の人が他の病気で入院もします。認知症の人のことをどれだけの看護師が正しく理解していただいているでしょうか。「家族の会」結成40年を経ても認知症介護の大変さは相変わらず変わっていないのです。認知症の人への対処方法は、日ごろ接している介護家族から学ぶべきところがあると思います。

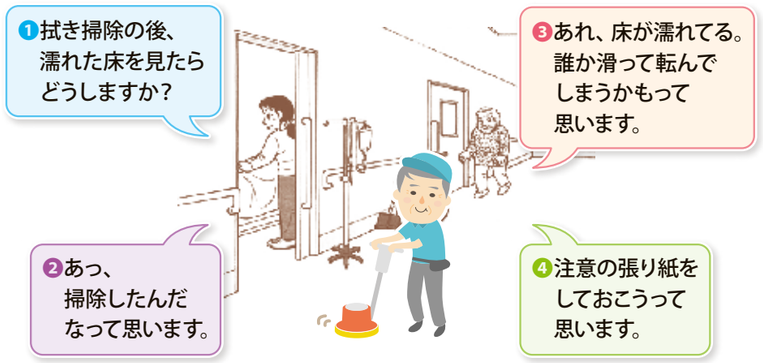
医療安全通信

医療安全推進委員会 vol.41

KYTでリスク感性を高めて看護していますか?

KYTとは、危険に鋭く気づくための危険感受性訓練を行う事です

医療安全では、起きてしまった原因追及も大切ですが、それ以上に事故を起こさない未然に防止することが重要です。下記のイラストから皆さん何を考えますか??



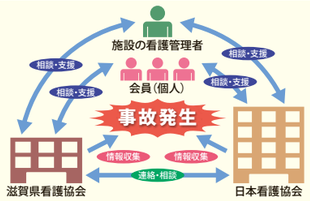
KYTに期待される効果

- 危険への感受性を高める
- 危険に対する集中力を高める
- 問題解決能力、意欲を高める
- チームワークの強化
- 安全意識の高い職場となる

あなたの感受性が医療事故の未然防止に繋がります!

医療安全相談窓口

- **受付時間**:9時30分〜16時(平日のみ)
- **場　　所**:滋賀県看護研修センター内 TEL.077-564-6468 / FAX.077-562-8998
- **担　　当**:看護協会長・常務理事・医療安全推進委員(適宜)
- **方　　法**:電話相談・来訪相談・FAX相談



職能委員会 活動報告

看護師職能委員会Ⅰ(病院領域)

委員長 小森 久美子

2020年度、看護師職能委員会Ⅰ(病院領域)の委員一同です。今年度は、「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見集約と課題検討」「看護チームにおける看護補助者との協働」「広報紙『かいつぶりのわ』 3号原稿作成」について活動して参りました。

去る10月には、『新型コロナウイルス感染症　この困難を乗り切る』をテーマに滋賀県看護協会として初めての試みである3職能合同交流集会が開催されました。看護師職能委員会Ⅰでは、各病院機能における新型コロナウイルス感染症対応の実態調査について分析し、結果を発表させて頂きました。この合同交流集会で共有できた様々な課題や具体的対応策は、各現場できっと活かされていると思います。

また11月に開催した、「看護補助者の活用のための看護管理者研修会」では、約40名の管理者の方々が参加され、自施設の課題や工夫を提供しあい、とても活発なディスカッションとなりました。広報紙作成では、県民の皆さまにとって、わかりやすい内容になるように心がけて作成しました。お手元に届いた際にはぜひご覧になって下さい。

さて毎月の委員会では、会議時間を短縮せざるを得ない環境下で、若干ピンチになりかけましたが、集中的に活動を展開し、委員のチームワークに今年も救われた委員長でした。かけがいのない時間と経験をさせて頂きました。

委員会 活動報告

教育委員会

委員長　三﨑 美佐子

教育委員会では、多くの看護職員が専門職業人として看護技術や知識の向上につながることを目指し「クリニカルラダー」の実践能力に応じた研修計画を立ててまいりました。

今年度、新型コロナウイルス感染症の流行により年度初めの研修より、中止や変更が必要となりました。このような状況下で予定していた研修を開催するか中止とするべきか大変悩みました。しかし、このような状況だからこそ看護への意欲向上や、共に働く仲間との交流により気分転換につながればと考え、安全に研修会を開催できるように、計画の変更を行いました。講師の方々や受講者のご協力の下、年度途中からは人数制限は行いましたがほぼ予定通りの計画で無事に研修会が開催でき、受講者の方々からも、高評価をいただく事が出来ました。

しばらく同様の状況が続くことが予測されるため、今回の経験を活かし次年度以降も、県下の看護職員が出来るだけ多く研修会に参加できるように企画をしていきたいと思います。

訪問看護支援センターだより

研修会を開催

2020年度訪問看護・訪問介護職員 安全確保離職防止対策事業

「体験型：在宅現場における暴力・ハラスメントへの対応」

訪問看護師や訪問介護職員等に対する利用者等からの暴力やハラスメント問題に対する対応を学ぶため、オンラインでの研修会を1月9日・30日に開催しました。

訪問看護ステーション・訪問介護事業所・居宅介護支援事業所から、４回に分けて10事業所ずつが、Zoomで参加しました。

関西医科大学　看護学部看護学研究科の三木明子教授にご指導、ご助言をいただきながら暴力・ハラスメント事例の対応場面のロールプレイを実施しました。実際に体験することで自分自身の振り返りや他事業所の対応を参考にすることができました。

ロールプレイでは設定された場面に従って、２事業所ごとに利用者・職員の両方の役柄で、悪い対応例・良い対応例を実演しました。

●飲み物などを執拗にすすめる利用者への対応場面
《 悪い対応例 》

利用者役：「このジュース来てもらった時に飲んでもらおうと思って準備しました。どうぞ。」

スタッフ役：「どうしようかな。飲めないことになってるんですが、今日だけですよ。」

実践していく中でみんなで考え、一番良い対応方法を採択しヒントを見つけていくことができました。

受講者からは、「ロールプレイを通して、不用意に誤解を招く発言をしてしまっていたことに気づいた」「関係を崩したくないのであやふやな対応をしてしまう場合があるが、できないことは最初にきっぱり断る対応が必要と感じた」等の意見をいただきました。

三木先生からの助言のポイント

▷長々と伝えるのではなく短い言葉ではっきりと断る。

▷問題が起こった時、事業所や管理者は中立的な立場で事実確認をする。

▷こちら側に落度はないのにへりくだると要求がエスカレートする場合があるので、契約書の内容に従って「出来ること」「できないこと」を明確に粛々とケアを進める。　等

令和元年度に「訪問看護・訪問介護事業所における暴力・ハラスメント対策マニュアル」を作成しました。

マニュアルは、滋賀県看護協会のホームページ（http://shiga-kango.jp/publics/index/342/）に掲載しています。日々の業務の中で活用してください。

今後は「ハラスメントのQ&A集」を作成予定です。安心して働き続けられる職場づくりを目指していきましょう。

令和2年度

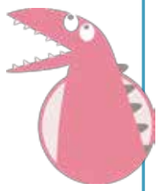
ワーク・ライフ・バランス（WLB）研修会

WLB取り組み最後の施設報告

令和２年度、第２回ワーク・ライフ・バランス（ＷＬＢ）推進研修会を２月18日の午後に開催しました。ＷＬＢ推進取り組み施設の報告は、看護協会が平成24年度～令和２年度の９年間支援してきた15施設の最後の病院である、済生会守山市民病院の３年間の取り組みまとめの報告でした。

参加者アンケートから、「最後の１年間は、コロナ禍でありながら、目標を見失うことなくしっかりと取り組まれていると感心しました」や「看護部長をはじめ副看護部長、各師長が、各部署に合わせて業務改善に取り組まれている現状を知る機会となり非常に参考になりました」等の感想がありました。社会保険労務士の大川氏と共に毎年２回訪問し最後までご支援でき良かったと思います。

看護協会独自の訪問アドバイスは今年度で終了しますが、今後は、医療勤務環境改善支援センターの訪問を活用し、職場環境改善に取り組まれる施設が増えることを願っています。



タスク・シフト／シェア シンポジウムを開催しました!!

「看護職の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアについて考える」

～医療機関におけるタスク・シフト／シェアの取り組み報告から現状と課題を知り働き続けられる職場環境づくりを目指す～

県内医療機関４施設の取り組み現状報告（シンポジスト）

社会医療法人誠光会 草津総合病院 総括看護部長 伊波 早苗 氏

タスク・シフトの最大の課題は、看護師の能力向上と地位向上であること、すべての看護師が対象であること、国民に必要な医療が安全かつタイムリーに提供されることが不可欠であることを示し、自施設の専門・認定・特定行為研修修了者の活動状況や看護職からメディカルスタッフへのタスク・シフト、介護職の充実等、業務・負担軽減策を紹介された。

医療法人友人会 友仁山崎病院 看護部長 橋本 逸子 氏

2010年から院内で役割分担推進委員会発足をきっかけに、医師の負担軽減・処遇改善、看護師の負担軽減、計画達成度評価、役割分担に向けた新たな計画立案について審議してきた経緯、看護師から他職種へのタスク・シフト、看護補助者へのタスク・シフトと責任について、そして、今後の具体的な取り組み課題を紹介された。

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院 看護部長 松原 栄子 氏

看護職と看護補助者の協働に焦点をあて、自施設に求められる役割・機能の紹介とその中での看護チームのあるべき姿「看護師と准看護師、看護補助者が協働し、安全で質の高い看護を効果的かつ効率的に提供する」を示し、看護補助者の確保、不足への対策、看護師長会によるナースエイドワーキンググループ活動と今後の取り組み課題等を紹介された。

社会福祉法人 青祥会 セフィロト病院 看護部長 脇坂 直隆 氏

精神科病院における医師の時間管理の現状と看護部を中心として院内連携を強化するための４つの戦略と推進体制、そして、戦略の実践と課題を明確にされている。その中で、薬剤科やリハビリ職との連携、また、55歳以上の看護職が全体の22%、その内15%はプラチナナース（60～81歳）ベテラン看護師の効果的な配置・IT化／機械導入等を紹介された。

研修参加者アンケートから意見抜粋

- **医師→看護師は、色々と具体的に取り組んでいたが、看護師→他職種へのタスク・シフト事例として学べた。**
- **各職種に業務が移譲されることにより、患者や地域住民にどう質の高い看護を提供できるのか。それぞれが考えることが必要であると分かった。今後検討していかなければならない課題も多く気付くことが出来た。**
- **看護師の能力向上・安全な医療・看護を行うために、どのようにタスク・シフト／シェアしていくかが大切。**
- **タスク・シフト／シェアについて具体的にどのように取り組んでいるのかを知ることができ参考にしたい。**
- **施設によって人事の状況が違うので、それぞれで努力が必要である。病院の様々な職種とのバランスが大切。**
- **これからの課題が見えてきた。色々、院内で話し合い、工夫されていると感じた。など**

４人のシンポジストの報告から、各病院の特徴や現状に合わせて、工夫し取り組みを進められていることが良く理解できました。今後、医師の時間外労働の上限規制が適用される2024年４月に向けタスク・シフトを進める動きが活発化するものと思われます。看護職が専門性を活かし様々な現場で能力を発揮できることを期待しつつ、各施設、各職場に合わせた、医師から看護職へ・看護職から他職種へのタスク・シフト／シェアを、職種ごとの特性を理解し進めていくことが大切だと感じました。

ナースセンターだより

新型コロナウイルス軽症者療養宿泊施設対応看護職員の募集

無症状・軽症者宿泊療養所入所の患者様の健康観察等をおこなっていただきます。勤務可能な方は、滋賀県看護協会・ナースセンターのホームページをご覧いただくか、滋賀県ナースセンターまでご連絡ください。

●お問合せ先：**滋賀県ナースセンター ☎077-564-9494**

看護職就職フェア in しが
《 開催しました 》

令和３年２月24日㈬ クサツエストピアホテルにて１日開催されました。62施設の求人（病院、訪問看護ステーション、介護福祉施設等）と62名の求職者の参加がありました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のために２部制（午前の部、午後の部で求人施設が入れ替わり）求職者は事前予約制で実施しました。

対面での説明には幅の広い机２台を使って距離を取り、フェイスシールドを装着して会話をしてもらいました。多くの看護職の方々が力を発揮できるように願っています。

プラチナナース研修会
《 開催しました 》

今年度、初めて、プラチナナース研修会及び交流会を12月17日に開催しました。参加者は、25名と少人数でしたが、有意義な研修会だったというアンケート評価をいただいています。

講演では、特定社会保険労務士でありファイナンシャルプランナーの、大川優佳 様を講師にお迎えして「私と年金」～自分自身のライフプランを考えて～と題してお話いただきました。**参加者からは、「年金について基礎的知識ができた」「年金の貰い方、繰り上げ繰り下げの利点や欠点がイメージでき良かった」「年金の知識がなかったので参考になった」等のご意見や「年金についてもう少し長く聞きたかった」「年金は個人により異なるので、相談に行こうと思った」「できるだけ働き続けようと思った」など、今後への要望や個人の行動につながる内容のご意見もありました。**このご意見は、今後の研修企画に活かしたいと思います。

また、病院・訪問看護・介護福祉施設で就業中のプラチナナース３名からは、ご自分の経歴や働き続ける思い、現状報告など熱いメッセージをいただき、参加者は**「３人の方々が、今も看護師として働いている姿が素晴らしく勇気をもらった」「65歳がタイムリミットかと勝手に思っていたが70歳を過ぎてもハツラツと働いておられることが分かり目指したいと思った」「働くことで輝いている、年を取り失うものもあるが新たに増えることも分かりプラチナナースの理由がよく分かった」「看護のすばらしさを実感できた」「定年後も仕事を続けたいと思った」等々**、看護の熟達者である3名のプラチナナースの報告に感動された意見が続いていました。

この研修会を企画担当し、嬉しい評価をいただき、研修会にご参加いただいた皆様に感謝いたします。

2019年病院及び有床診療所における看護実態調査報告から

2019年に日本看護協会は病院及び有床診療所における看護実態調査を行い、看護職の就業継続を可能とする働き方の５つの要件を明らかにしました。「夜勤負担」「時間外労働」「暴力・ハラスメント」「仕事に関するコントロール感」「評価と処遇」これらの要件を備えて取り組むことで、看護職個人の職場に関する評価が高まり、それが、看護職個人の就業継続が可能な働き方に良い影響を及ぼす結果につながるということです。

課題解決への取り組みが、職員の離職を防ぎ、質の高い安全なサービス提供につながることで、経営改善に好影響を与えるものと思います。ナースセンターは、職場環境改善に取り組まれる施設を応援します。

（2019年病院および有床診療所における看護実態調査 公益社団法人 日本看護協会 参考）

リスタートナースサポート研修を受講して

新型コロナウイルス対策で、密にならず会話も控えての環境でしたが、現場を離れ復帰への不安や家庭と仕事の両立での困難感は誰でももっていることを共有できました。経験年数は違っても看護への思いは同じだと改めて感じることができました。今後目標とする分野への質問では講師から力強いアドバイスがあり、受講者一人ひとりに親身に関わって頂けて、有意義な時間を過ごすことができました。（森 由美）

「看護フェア」開催のお知らせ
～看護の力で健康な社会を～

- 日時：令和３年５月９日㈰ 10：00～15：00
- 会場：滋賀県看護研修センター

看護職になりたい 小学生・中学生・高校生 あつまれ!!

これからの予定
※詳細は決まり次第ホームページに掲載します

6月～7月

新卒看護職員交流会
［滋賀県看護研修センター］
4月入職（新卒看護師）の交流会です

看護学校進学説明会
［滋賀県看護研修センター］
県内の看護学校等に進学希望の中高生や社会人対象の説明会です

8月

看護職員就職説明会
［県立文化産業交流会館］
県内の医療機関等から就職の説明が受けられます

ナースセンターに登録されている方へ

「eナースセンター」や届出サイト「とどけるん」にご登録頂いている内容（住所やメールアドレス等）に変更がありましたら、ナースセンターまでご連絡ください。また、IDやパスワードを忘れてしまった方、登録があるかどうかもわからない方も、とりあえず滋賀県ナースセンターまでお問合せ下さい。

ご連絡をお待ちしております
滋賀県ナースセンター
☎077-564-9494

SHIGA! はたさぽ通信

就業コーディネーター｜乾 悦子

こんにちは。新年度に入り、職場に新しい仲間を迎え、お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。みなさまの健康をお祈りしています。看護職の就業支援は、草津の滋賀県ナースセンターをはじめ、彦根サテライトや県内８か所の出張相談窓口で行っています。どうぞお気軽にご利用ください。

今回は、昨年度58病院を訪問し、お聞かせいただいた定年後の自施設での再雇用を除く「60歳以上の求人」についてご紹介します。

- **求人あり：７施設**
- **人物により採用検討：10施設**
- **雇用形態による採用：非常勤４施設、会計年度２施設、臨時１施設**

プラチナナースの経験や力は、地域密着型や療養型、精神科領域の病院からも求められていることがわかりました。

お知らせ

４月１日から高島の出張相談窓口の場所と日程が変更されました。

高島健康福祉事務所
⬇
ハローワーク高島
毎月第１・第３木曜日
10時～13時

お問合せ先
●滋賀県ナースセンター TEL.077-564-9494 ／ FAX.077-562-8998
●彦根サテライト TEL.0749-30-1235 ／ FAX.0749-30-1233
●E-mail：shiga@nurse-center.net

詳細は ホームページを ご覧ください